

## 頭の上にカーブミラーが??

---

まずは写真をよく見てください。ちょっと分かりづらいでしょうが、電柱から張り出した状態で道路の上空にカーブミラーが着いています。

この道路は川西市の多田大橋から宝塚市の切畑に抜ける「切畑多田院線」という、対向車とのすれ違いも困難な細い細い山道です。当然、カーブが続くブラインドの多い道ですので、カーブミラーも多く、結構初心者には不向きな道です。



写真のカーブミラーは人家もない寂しい峠の尾根にあります。カーブミラーの位置からは、それぞれ約10%強の縦断勾配で下っているんですが、何しろ本当に小さな縦断曲線しかはいていません。

そんなことから、ちょっとでも早く対向車を確認するために設置されているものと思います。縦横の違いはあっても、一応理にかなってはいますが、ご覧のようとにかく見づらいんです。ミラー自体の面積も小さく、注意深く見ようと上を見すぎると、突然目の前に対向車が現れあわててしまいます。

ちょっと珍しいカーブミラーをご紹介します。

